

IBC Press Release

平成23年11月17日

IBC岩手放送の震災関連テレビ番組 国際版を制作 海外でも放送へ

～ JAMCOを通じ開発途上国の放送機関へ無償提供～

東日本大震災を受けIBC岩手放送が制作、5月に放送したテレビ番組「幾歳経るとも
要心あれ」が財団法人放送番組国際交流センター（JAMCO）が募集した、東日本大震災
関連番組の国際版（英語版）制作番組に選定された。このほど、その国際版として「[March
11,2011 Tohoku Earthquake and Tsunami ~No Matter How Many Years Go By...
Do Not Forget ~](#)」の制作が完了。JAMCOでは11月インド・ニューデリーで
開かれたABU（アジア太平洋放送連合）総会で、このIBCの番組を含む震災関連番組を
PRしたほか、今後JAMCOを通じて開発途上国の放送機関へ無償提供。東日本大震災を
伝える地元放送局の番組が、広く海外でも視聴されることになる。

IBC岩手放送制作「幾歳経るとも要心あれ」国際版

March 11,2011 Tohoku Earthquake and Tsunami
～No Matter How Many Years Go By...Do Not Forget～



【概要】 2011年3月11日に発生したマグニチュード9.0の大地震。岩手県内でも多くの人々が
命を落とした。過去に悲しい経験を繰り返し『津波への警戒心を世界一高く持つ地域』であることを
自負しながらも、多くの死者を出してしまったのは何故なのか。「想定外」と言われる今回の大津波
だが、後世の人々に、この規模の大津波を「想定」してもらえよう、各方面から取材・検証した。

「明日への証～幾歳経るとも要心あれ」日本語版

IBCテレビ 11月24日(木)午後7時～放送